

## 第45回技術士全国大会 in 福島に参加して

建設部門 中村裕大

### (1) はじめに

平成30年11月11、12日に福島県郡山市で開催された技術士全国大会に参加したので報告します。

今回私が遠方の地での大会に参加した理由は、平成25年に東北地方太平洋沖地震の災害復旧業務の派遣職員として1年間福島県で仕事をしたことがあり、久しぶりに福島県に行ってみたいという動機があったからです。

今回、私が勤務していた浜通り地方には時間の制約で行けず残念でしたが、5年ぶりに福島県の地を踏むことができ大いに感激しました。

### (2) 郡山市内の状況について

研修会の前に郡山市の開成山公園を散策しました。郡山市内では線量計を見ることはなく、原発事故を意識することはありませんでしたが、開成山公園では除染作業が行われており、原発事故の影響がまだあることを感じました。

(写真1)



写真1

### (3) 研修会

研修会は郡山駅前のビックアイで行われました。

会では参加者が6班に分かれ、福島県が定めた「ふくしま創生総合戦略」をテーマに、技術士としてどのような施策を進めていくか検討を行いました。(写真2)

また、次回開催県である徳島県からプレゼンがありました。(写真3)



写真2



写真3

#### (4) 懇親会

懇親会は磐梯熱海温泉の旅館で行われました。

青年部の懇親会では恒例のようですが、各支部から酒を持ち寄りプレゼンをするS-1グランプリがありました。

青年技術士の方は日本酒に造詣が深い方が多いようで、会場は大いに盛り上がりました。(写真4・5)



写真4



写真5

#### (5) 現場研修会

現場研修会は日本遺産にも登録された安積疏水を学ぶテクニカルツアーでした。

安積疏水は猪苗代湖より取水し、郡山市とその周辺地域の安積原野に農業用水、工業用水、水力発電用水、飲料水を供給しています。

安積疏水事業は、明治政府の大久保利通が関わり、著名なオランダの土木技師ファン・ドールンの技術指導により実施された国直轄の農業水利事業第一号です。

この事業によりそれまで不毛の地だった安積原野が一大穀倉地帯へ変貌し、現在の郡山市の発展の基礎となりました。(写真6・7)

以上簡単ですが、参加報告とします。



写真6



写真7